

第61回 飯田市公民館大会

つながる。～地域・人・そして未来へ

飯田市公民館大会は、1年間の公民館活動等の成果を確認するとともに、自分たちの暮らしや生き方を見つめ、考えを深める機会として開催しています。

コロナ禍を乗り越え日常を取り戻していくなか、コロナにより影響を受けた「人と人のつながり」や「地域コミュニティの活力」の再生が求められています。そのためには、地域住民が集い、地域に着目した「学びや交流」のさらなる充実が大切であり、その過程において地域や人との「つながり」や「活力」が生まれると考えます。

心豊かに暮らしやすい地域を目指し、地域・人・未来を視点にみんなでも考えてみませんか。

日時 **2024年**
2月18日 日 | 13:00-17:15
(受付12:30～)

飯田文化会館 住所：飯田市高羽町5-5-1

基調講演

13:25～
14:35

「右手にスコップ・左手に缶ビール」で元気なまちを創る！
～汚れた「水の都・三島」を再生したグラウンドワーク三島の手法を学ぶ～

地域内に具体的な課題を発見して、地域でできることを議論して、できないことは行政や企業などの力をかりる。そして、小さくても良いのでできることから、少しずつ、具体的な改善整備活動を進めて形・成果を蓄積していくことの手法をNPO法人グラウンドワーク三島の事例に解説いただきます。



【講師】渡辺 豊博氏

(NPO法人グラウンドワーク三島 専務理事/元都留文科大学教授/農学博士)

【分科会】 14:50～17:15 ※分科会の詳細はチラシ裏面をご覧ください。

第1分科会

これからの文化的活動のあり方を考えよう
～それぞれの「一歩」を語ろう！～

第2分科会

運動会 再開？=再会？

第3分科会

住民に親しまれる広報・館報・新聞へ
～なぜ私たちは紙にこだわるのか～

第4分科会

みんなで一緒にやらないか
～分館だからこそできること～

第5分科会

関わるみんなが、つながり楽しむ 育成活動

第6分科会

地域の活動を、気軽に語ろう！
発見や気づきがあるよ♪ ※第6分科会の「ムトス飯田学習交流会」の会場はムトスばらざ2階(飯田市東和町2丁目35)となります。

●参加を希望される方は、電話・FAX・メールにて各地区公民館または飯田市公民館までご連絡ください。

●ご不明な点は、飯田市公民館までお問い合わせください。

【主催】飯田市公民館

【電話】0265(22)1132 【ファックス】0265(22)1022

【メールアドレス】 iccc01@city.iida.nagano.jp

分科会

第1分科会

これからの文化的活動のあり方を考えよう
～それぞれの「一歩」を語ろう！～

【担当館長】竜丘・伊賀良・上郷・南信濃
【担当主事】川路・橋北・橋南・松尾

コロナパンデミック、働き方とライフスタイルの変化、担い手不足などにより、地域の文化的な活動を支える環境は大きく変容しています。このような中、文化的な活動が人と人を繋ぎ、多様さを包み込み、地域の良さと一人ひとりの心の豊かさを実感できるよう、各地区では今、さまざまな取り組みが行われていることと思います。そこで、地域の活動事例を語り合い、経験や工夫を振り返り、私たちが活動する意味、そしてこれからのに向けた“一歩”をみんなで考え合います。

話題提供

◇竜丘公民館 文化財ボランティア 原 信治さん、伊藤 正子さん
◇上郷公民館 地域を育む委員会委員長 上沼 寛さん ◇木沢霜月祭り野郎会会長 木下 隆彦さん

第2分科会

運動会 再開？=再会？

【担当館長】松尾・上久堅・鼎・上村
【担当主事】龍江・羽場・三穂・山本

コロナ禍を経験し、公民館の体育事業は長期的な休止を余儀なくされ、交流の機会が奪われてしまった一方で、それぞれの事業をなぜやるのか、一度立ち止まって考える機会になりました。今年度から多くの地区で運動会が「再開」され、地区住民が運動会の場で「再会」し、横のつながりを再認識しました。運動会の再開には、多くの人が参加し、楽しんでもらうための種目の工夫、人集めの工夫、運営の工夫がありました。様々な地区の工夫を知り、意見交換をして運動会の新しい良さを見つけませんか。

話題提供

◇松尾公民館 スポーツ委員長 藤本 亮直さん
◇羽場公民館 体育委員長 玉川 和宏さん、飯田西中学校の皆さん

第3分科会

住民に親しまれる広報・館報・新聞へ
～なぜ私たちは紙にこだわるのか～

【担当館長】橋北・橋南・丸山・龍江
【担当主事】千代・丸山・鼎・上村

各地区で作成される広報・館報・新聞には、地域での出来事を後世に残す「記録」としての役割と、地域の問題を住民に届ける「広報」としての役割の2つの側面があります。しかし、組合加入率の低下や、スマホやSNSを中心とした生活の変化、活字離れの影響から、若い世代を中心に広報・館報・新聞が読まれていないのではないかと懸念されます。この分科会では、公民館報で「見てもらうための工夫」を講じた事例や、WEB媒体を活用した広報について事例を聞きます。多様なニーズに合った広報・館報・新聞のあり方や紙媒体の役割をおさえながら、紙面づくりを通して地域の人が“つながる”広報について考える機会とします。

話題提供

◇橋南公民館 館報委員長 田口 勢季子さん
◇鼎地区まちづくり委員会・ホームページ検討委員 木下 善文さん

第4分科会

みんなで一緒にやрмаいか
～分館だからこそできること～

【担当館長】下久堅・東野・川路・山本
【担当主事】上久堅・伊賀良・上郷・南信濃

地域の皆さんにとって一番身近な地域のつながりである分館活動ですが、顔の見える関係だからこそ意見を出し合い協力し合うことで自由度の高い活動ができます。しかし、コロナ禍や組合加入率の低下などにより人々が集う機会が減少し住民同士のつながりも希薄化しつつあります。

この分科会では、地域のために分館を立ち上げ、つながりを復活させようと奮闘されている事例や、地域の幅広い世代を巻き込み一緒になって活動されている事例をお聞きします。参加される方はもちろん役員自身も愉しめる分館活動とはどのようなのでしょうか。各分館の実践について意見交換しながら、「私たちの分館でもこんなことができそう！」を見つけてみませんか。

話題提供

◇東野公民館 鈴加東新分館 分館長 山崎 喜一郎さん ◇川路公民館 第7分館 分館長 涌井 政美さん

第5分科会

関わるみんなが、つながり楽しむ 育成活動

【担当館長】座光寺・羽場・千代・三穂
【担当主事】竜丘・東野・座光寺・下久堅

各地区では子どもたちのために、多様な育成活動が行われています。子どもたちは育成活動に参加し、地域を知り、楽しさを感じることで、地域に愛着を持って育っていきます。

また、子どもたちが楽しく参加し活動した話を家庭で話したり、家族で楽しんで活動に参加したりすることで、子どもたちだけではなく、保護者が育成活動について、ひいては公民館や地域についても興味を持ってくれます。育成活動は子どもたちを中心に、地域をつなげていく大切な活動です。

各地区の育成活動の情報交換だけでなく、子どもたちと楽しめる育成活動にするにはどうしたらいいのか、それが地域にどうつながっていくのかを、みんなで話し合しましょう。

話題提供

◇丸山小学校放課後子ども教室スタッフ 松澤 卓治さん ◇下久堅公民館 育成部副部長 齊藤 明宏さん

第6分科会

「ムトス飯田学習交流会」 地域の活動を語ろう！知ろう！発見や気づきがあるよ♪

飯田市のキャッチフレーズに掲げられた「合言葉はムトス 誰もが主役」は、私たち一人ひとりの「～しようとする」自発的な意志や意欲を表します。

各団体の活動の工夫やメンバー自身の愉しみ方などを知り、他団体とつながる機会にしませんか。話題提供を聞いた後、グループワーク形式で、意見交換をします。

話題提供

◇ムトス飯田賞受賞団体の皆さん 他

●第1～5分科会の会場は「文化会館」(高羽町5-5-1)、第6分科会のみ「ムトスぷらざ」(東和町2-35 丘の上結いスクエア2階)となります。